

1 建設産業振興プランの変遷

みやぎ建設産業振興プラン		新みやぎ建設産業振興プラン	第3期みやぎ建設産業振興プラン	第4期
H20～H23 (4年間)		H28～R2 (5年間※1年間延長)	R3～R6 (4年間)	R7～
<ul style="list-style-type: none"> ○経営力と技術力に優れた建設業者の育成 ○建設市場の適正な競争環境の整備 ○新しいパートナーシップの構築 	震災復興による中断	<ul style="list-style-type: none"> 『みやぎの将来を力強く支える建設産業の再生』 ○技術力・経営力を“伸ばす” ○地域を“支える” ○担い手を“育てる” ○災害から“守る” 	<ul style="list-style-type: none"> 『「地域の守り手」として宮城の県土づくりを担う持続可能な建設産業』 ○担い手の確保・育成 ○生産性の向上 ○経営の安定・強化 ○地域力の強化 	今年度策定

2 第3期みやぎ建設産業振興プランの概要

基本理念	「地域の守り手」として宮城の県土づくりを担う持続可能な建設産業	
	基本目標1 担い手の確保・育成 施策1 働き方改革の推進(処遇改善) 施策2 若者・女性等の活躍及び定着 施策3 建設産業の戦略的広報	基本目標3 経営の安定・強化 施策1 復興需要後の経営支援 施策2 将来を見通せる環境整備 施策3 建設産業の健全化 施策4 適正かつ公平な市場環境の整備
	基本目標2 生産性の向上 施策1 現場の省力化・効率化 施策2 技術力・専門力の強化及び評価	基本目標4 地域力の強化 施策1 「地域の守り手」として地域社会の維持、安全・安心の確保 施策2 災害対応の知見を生かした災害発生時の対応確保



3 プランの策定スケジュール

- 今年度の年度末に向け、策定作業の説目ごとに本懇談会を開催してご意見を頂戴しながら、検討を進めていく。

第1回懇談会 (R5年3月)	第2回懇談会 (8月2日)	第3回懇談会 (10月頃)	第4回懇談会 (12月頃)	第5回懇談会 (2～3月頃)
○第3期プランの中間検証	○建設産業の現状整理 ○第3期プランの取組の検証	「骨子案」 ○基本理念 ○基本目標 ○施策体系の整理	「中間案」 ○KPIの設定 ○具体的な取組内容の整理	「最終案」 ○パブリックコメントの意見反映

4 現プランの施策評価アンケートの実施

調査目的: 第三期プランで実施した各取組の必要性と取組の実績への建設業者の評価を調査
 調査対象: 宮城県建設業協会・みやぎ中小建設業協会・宮城県専門工事業団体連合会の加入業者
 上記以外で宮城県の入札参加登録があり、過去5年間に県工事の受注実績のある業者
 調査数: 955者
 回収数: 341者 (回答率 約35%)
 調査期間: 令和6年6月17日～7月7日
 調査内容: 令和3年度から5年度までに実施した第3期プランの取組実績についての評価(53取組)
 県の入札契約制度について
 BCPの策定状況について

5 地域建設産業のあり方検討委員会による調査

- (一財)建設業情報管理センターの事業である「地域建設産業のあり方検討委員会(宮城県)」が令和5年度に実施され、令和6年3月には報告書が公表された。
- 報告書では宮城県建設業の今後に向けた提言がとりまとめられ、「担い手の確保・育成」「働き方改革・生産性向上」「持続可能な経営環境の整備」を柱として、各種取組を実施していくことを提案する内容となっている。

■ 調査概要

- 建設業者向けアンケート
 - 調査対象: 県内企業のうち、令和4年度に経営事項審査を受審した2,770者
 - 回答数: 836者(回答率: 30.2%)
- 建設業の若手就業者向けアンケート
 - 調査対象: 県内建設企業で勤務する10～30代の若手就業者
 - データ数: 303者
- 県内在住者に対する建設業のイメージ調査
 - 調査対象: 県内在住の20代～70代
 - データ数: 1200者

